

令和6年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間・最終)

昭和中学校区 校番16 学校名 昭和中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	学力の向上を図る	【貫】継続的な授業改善に取り組み、「考える授業づくり」を推進する。 基礎・基本の定着や個に応じた指導の充実を図る。	研究部を中心に「考える授業づくり」を行っているが、自分の意見が持てず、友達の意見を聞いたり共有したりする場面での意識が弱くなっている生徒がいる。 定期試験、全国学力・学習調査状況調査ともに目標値を下回っている。教員は意識をしてドリル学習の準備等をしているが、生徒自身へ意図が伝わらず、主体的に臨む意識を高められていないことが考えられる。	「聞いて 考えて つなげる授業」モデルを意識しながら、特に「個の意見を持つ時間」を意図的に設定していく。 各学年で学習の姿を共有しながら生徒の実態に応じた授業展開を意識することで、主体的に取り組む姿勢を高めていく。また、学習の意義を生徒自身が感じることができるように、スモールステップで自己肯定感を高めさせる。
**	中学生としての自覚と責任を持たせる。	「授業規律やりきる三則」を徹底し、中学生としての規範意識の向上を図る。	○ 個別の指導により、登校時刻の8時25分の着席に遅れる生徒が減少した。授業遅刻については、一部守れない生徒がおり、学校全体で粘り強い指導や保護者連携を継続することで改善が見られた。 ○ 服装や身だしなみが大きく乱れる生徒は、ほとんどいない。一部ではあるが、ルールを守れない生徒や指導されるまで直せない生徒もいる。 ○ 生徒会を中心に清掃活動や点検等を行い、学校全体で美化に務めることができた。しかし、ゴミが落ちていることを気にとめない生徒や整理・整頓ができない生徒もおり、指導の徹底を図る必要がある。	○ 時間を守れない生徒や遅刻気味の生徒に対して、家庭と連携した指導や協力依頼などの取組を行うとともに、日々の学校生活での指導の徹底や機会をとらえ、生徒自らが時間を守る意識を高めるための集団づくりや指導を行う。 ○ 服装や身だしなみが整わない一部の生徒に対して、家庭と連携した指導や協力依頼等の取組を行うとともに、日々の授業や進路指導の機会を通して、集団指導を充実させて生徒の意識や態度の改善を図る。 ○ 「授業規律やりきる三則」の徹底に向けて、統一した指導を継続する。特に学級担任が教室の美化について特化した指導や取組を工夫する。また、ロッカーなどの設備面の改善や環境整備に向けた検討や要望を継続していく。
*	豊かな感性や社会性を育む。	【貫】生徒同士の共感的な人間関係づくりを推進し、自尊感情を育成する。 学校や地域、社会に貢献しようとする意欲と態度を育成する。	○ 学校行事が通常通り開催できるようになったことで、生徒が前面に出て、自主的・主体的な取組が行えた。部活動休養日が週2日あるため、活動時間が制限されるが、生徒の自主性や主体性を育み、生徒自身の満足感や達成感に繋がる部活動の充実に取り組む必要がある。 ○ 他者と人間関係を構築することが苦手な生徒もいるが、落ち着いた学習環境づくりや丁寧な教育相談活動に取り組むことにより、教職員と生徒、生徒間の共感的な人間関係を築く必要がある。 ○ 学校や家庭の中で過ごすことが多く、学校外に出ることが少なかった。校外学習やボランティア活動で学校外での経験を積ませ、社会性を育む中で自分の将来や目標を持たせる必要がある。	○ 学校行事は今後も通常通り開催ができるため、日々の授業や学級での生活で目標を持たせ、集団の高まりや成長を目指す。また、学年で校外学習や球技大会を行う等、できる範囲で生徒同士の関わりを持たせることで、集団への所属感や達成感が味わえるよう取組の工夫や指導・支援を行っていく。 ○ 教育相談体制を更に充実させ、生徒が抱える不安や不満の早期発見・早期解決を目指し、生徒の自尊感情を高める必要がある。 ○ 生徒会執行部が主体となり、生徒の自己有用感や社会性を育むために、生徒の主体性を尊重しながら、ボランティア活動や小中交流などの取組の充実を図る。

業務改善	働きやすく働きがいのある職場づくりを推進する。	生徒と向き合う時間を確保する	○ 会議等の効率化、職員室の整理整頓等により生徒と向き合う時間を確保していこうとする教職員の意識が高くなっている。 ○ 組織的な業務改善により効果が感じられている部分もある。さらに業務改善を進めていくために担当、役割を明確にする。	○ 業務の効率化のためのスケジュール管理を行い、業務を行い、業務をチームで進めていくことにより、生徒に向き合う時間の確保ができる職場づくりを推進する。 ○ 引き続き、風通しの良い職場風土を「報告・連絡・相談」を含むコミュニケーションを図る中で醸成していく。
------	-------------------------	----------------	--	---